

本カタログに掲載している製品内容は、部品としての品質範囲です。この部品を使用した最終製品の機能・性能・安全を保証するものではありません。

ランプ印 折戸 KF111-A型 下ローラー Sタイプ、Lタイプ



下ローラー Sタイプ(P.426) | 下ローラー Lタイプ(P.428)

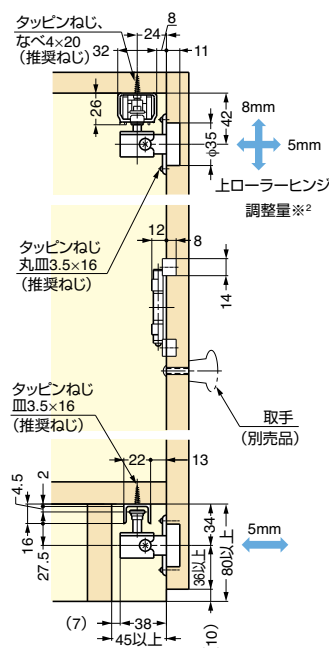
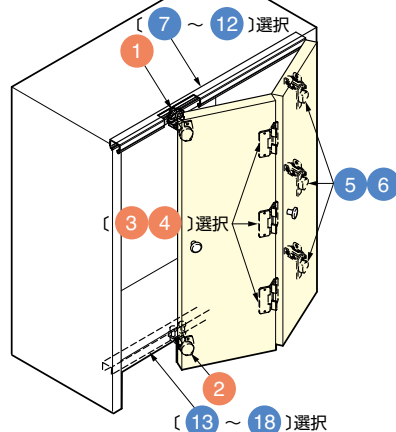
扉幅	450mm以下 (扉1枚当たり)
扉高さ	2400mm以下
扉厚	15~22mm
扉質量	10kg以下 (扉1枚当たり) ※ ¹
最大かぶせ代	19mm (吊元丁番: ランプ印230-26/19T)
吊元扉開き角度	扉厚20mmまで95°、扉厚35mmまで90°
製品仕様	2枚折戸仕様 (かぶせ)

キャビネットの外に下ローラー、下レールが付く仕様。 | キャビネット内側に下ローラー、下レールが付く仕様。

※¹ 扉サイズは扉質量を優先して決めてください。

■下ローラー Sタイプ 納まり寸法例

丸番号は部品番号です。右ページの部品表と照らし合わせてご覧ください。
下ローラー Lタイプは、P.428をご覧ください。



※² 扉の高さは-4mmから+4mm、前後-2.5mmから+2.5mmの範囲で調整可能。

吊金具が外から見えない、かぶせ仕様の折戸金物。

■扉仕様 [幅:450mm以下] [厚さ:15~22mm] [高さ:2400mm以下] [質量:10kg以下/扉1枚当たり]

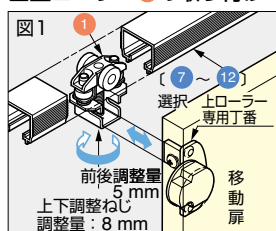
■特長

- 上レールは外部からのほこりを防ぎ、扉をスムーズに動かします。
- センターヒンジは開閉時のキャッチ機能と全閉時の衝撃吸収機能付きです。
- ローラーを調整することにより、扉位置を上下・前後に調節ができます。

■注意

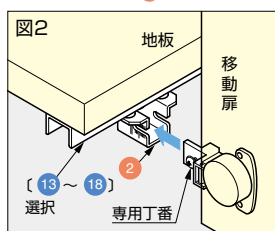
扉が規定質量を越えると、開閉が重くなることがあります。扉寸法が大きい場合は、フラッシュ構造などにより10kgを越えないようにしてください。

■上ローラー①の取り付け



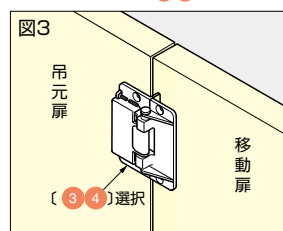
- ・上レール⑦~⑫を取り付ける前に図1の向きに上ローラーを上レールに入れておきます。
- ・上ローラーブラケットの調整ねじで高さを調整し、移動ドアの上部丁番を上ローラーのブラケットに差し込み仮止めします。

■下ローラー S②の取り付け



- ・下ローラーを下レール⑬~⑱に図2の向きに入れ、専用丁番を差し込んで仮止めします。
- ・全てのねじを仮止め後、扉を動かし滑らかに動くよう調整を行います。最後に、全てのねじを確実に締め付け固定します。

■センターヒンジ③④の取り付け



- ・扉奥面の指定位置に図3の向きで取り付けます。詳細は取付説明書でご確認ください。

■扉寸法の求め方

- 吊元丁番のカット量C寸法は右表により求めます。
- 移動扉のカップ穴は右図および右表指定寸法を守ってください (移動扉のカット量は、図示の通りかぶせ量に関係なく5mmです)。
- 取手は別売品です。取付穴は取手に合わせてください。
- 取手位置は使い勝手の良さの点で①、②の2ヶ使いをおすすめします(①: 開く時、②: 閉じる時)。③位置での1ヶ使いもできます。また④位置での1ヶ使いも可能ですが、この場合閉じる時は移動扉の先端部に直に手をかけて引くことになります(④位置は閉じる時には使えません)。

扉高さ	丁番⑤⑥数
900mm	2ヶ
1600mm	3ヶ
2000mm	4ヶ
2400mm	5ヶ

吊元扉かぶせ量	カット量C寸法
19mm	5mm
18mm	4(5)mm
17mm	3(4)mm

注意 () 寸法はかぶせ量調節ねじで適用可能。

■扉の加工寸法 (扉裏面側)

図は右開きを示します。左開きは勝手違いとなります。

